

基本データ

日時：2020/02/25 8:30-15:00

場所：滋賀県立大学 交流センターホワイエ

運営体制：

職員 2名 | 学生委員23名 | 協力者(学生) 2名

参加者数：93名(保護者)

目的/概要

保護者が抱える不安を解消するために大学生活の具体的なイメージを持ってもらうことや下宿がどのようなものかを知ってもらい、説明を受けた保護者の方に安心した表情で帰ってもらう。

コンテンツ

- ・ダイナソー（大学生生活何でも相談）を設置
- ・BigBig地図を用いて県大周辺のことを説明
- ・大学生活に関する資料を置き、家に帰ったときに詳しく見て振り返ってもらう

01 学科の説明を4年間を軸にして

ダイナソー（大学生生活何でも相談）で学科の説明

滋賀県立大学は4学部13学科あります。13学科すべてのダイナソー（大学生生活何でも相談ボード）を設置し、それぞれの学科の学生から講義や大学生活のことを紹介しました。ダイナソーは4年間の流れがわかるように1回生から4回生のそれぞれの時間割や生活などが記載されていて、大学生活がイメージしやすいものとなっています！



ボードには4年間で起きたケガや病気を書いていて、この内容を踏まえて共済の提案を行っています！

02 下宿生が大学周辺環境を経験から語る

BigBig地図で大学周辺環境を説明

住まいの相談に来た保護者の方を中心に大学周辺の地図、BigBig地図で説明していました。滋賀県立大学の下宿先地域は主に3つに分かれていてそれぞれの地域のメリット、デメリットが書かれていたり、どこに病院やドラッグストアがあるかが書かれていて下宿生には心強いマップになっています！！



県大生は自転車が多く、道が狭くて危険な箇所も書かれています！

03 大学の価値を組合員みんなで伝える

学生の協力者とともに学科の説明を行う

この活動はとんがり（生協学生委員会）が運営していますが、13学科すべてをとんがりのメンバーで担当することができませんでした。そこで、この活動に参加してもらえる協力者を募ってすべての学科を説明できるようにしました。学生委員だけでなく、組合員と連携して新学期活動を実施しているところが素敵です！！



ボードには学科の特徴や先輩学生の過ごし方が詳しく書かれています！

